

## 1 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

|         |                     |            |            |
|---------|---------------------|------------|------------|
| 事業所番号   | 0393000070          |            |            |
| 法人名     | 有限会社 介護施設あお空        |            |            |
| 事業所名    | あお空グループホーム小本        |            |            |
| 所在地     | 岩手県下閉伊郡岩泉町小本字南中野285 |            |            |
| 自己評価作成日 | 平成27年9月28日          | 評価結果市町村受理日 | 平成28年1月21日 |

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家庭的な雰囲気を大切にしています。ご本人の気分に合わせて動けるように、急いだり無理をさせる事ないように心がけています。又、地産地消の食材を使った食事を提供し健康維持に努めています。隣接する空き地に復興住宅が立ち並び、屋外の環境の変化が大きいです。新しい隣人との関係を上手く築いていくことが今後の目標となっています。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.kai.gokensaku.jp/03/i/index.php?act=on_kouhyou_detail_2014_022_ki_hon=true&amp;Ji_gyosyoCd=0393000070-00&amp;Pr_efCd=03&amp;Ver_si_onCd=022">http://www.kai.gokensaku.jp/03/i/index.php?act=on_kouhyou_detail_2014_022_ki_hon=true&amp;Ji_gyosyoCd=0393000070-00&amp;Pr_efCd=03&amp;Ver_si_onCd=022</a> |
|----------|---|

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                                 |
|-------|---------------------------------|
| 評価機関名 | 公益財団法人いきいき岩手支援財団                |
| 所在地   | 岩手県盛岡市本町通3丁目19-1 岩手県福祉総合相談センター内 |
| 訪問調査日 | 平成27年10月14日                     |

津波以降の街作りが進んでおり、事業所の周辺には、小・中学校や新しい住宅が日々建設中である。今後新しい地域が作られようとしている中、この事業所が地域作りに果たす役割は大きいと思われる。駅の所にできる集会所でAED講習をしたり、腰痛予防教室を開きたいと考えており、介護の拠点として、これからの確かな歩みを期待したい。利用者は 職員の温かな眼差しに見守られ、穏やかな日々を送っている。入居当初、混乱があっても、利用者の状態を的確に判断した素早い対応で、ほとんどの利用者に改善が見られ、落ち着いた生活となっている。隣接の小規模多機能事業所と応援し合う体制が作られており、何か行事があれば行き来をし、面会に訪れた方達も自由に行き来している。利用者の希望を叶えるため、あれこれとアイデアを出し、フットワーク良く支援が行われており、利用者と介護者が、ともに生きる場となっている。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印   | 項目 | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印   |
|----|---|----|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)                      | ○  | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)                            | ○  | 1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                                  | ○  | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)                    | ○  | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                                 | ○  | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)                        | ○  | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28)                  | ○  | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○  | 1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○  | 1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○  | 1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くない            |
| 66 | 職員は、生き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○  | 1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○  | 1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○  | 1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |

自己評価および外部評価票

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

| 自己                 | 外部  | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |  |
|--------------------|-----|---|---|---|--|
|                    |     |   | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容  |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |   |   |   |  |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                            | 理念に基づいて、管理者と職員間で共有する事が出来ている。  | 理念「あふれる笑顔とまごころで」は開所当時に決めたものであるが、それを具体化する形で毎年スローガンを職員からの応募で決めている。職員の目に付くところに貼って、意識付けを図っている。                    |  |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                            | 散歩や買い物の時など、地域の方々と日常的に挨拶や日常会話をしている。<br>地域の行事に参加したり近所の建前でもち拾いにもお誘いが有ります。参加した行事等は広報紙に掲せています。 | 8月には地元の業者と一緒にあお空祭りを開催し、子供会を中心に100名位が集まり楽しい時を過ごした。保育園から高校生までが訪れ、お遊戯や七つ舞などを披露してくれている。近所の床屋、商店、食堂などには日常的に出かけている。 | 被災後の新たな街づくりが行われ、近くに小・中学校が建設中である。駅にも集会所がつくられる予定であり、今後そこでAED講習会や腰痛体操教室を開いたりと事業所としてできることを積極的に行いたいと考えており、その実現に向けた取り組みに期待したい。 |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                          | 地域の人に向けて十分に活かしているとは言えない。事業所の行事や地域のイベント参加・近所での買い物や外食で交流することで少しずつ理解が深まっていると思う。              |   |  |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている       | 会議に職員が交代で参加し、情報を共有に務めている。   | 運営推進会議は、和やかな雰囲気の中、様々な意見が出されている。小規模多機能と合同で行っており、介護についての相談があったり、イベントやお祭り、地域の情報について話題提供が行われている。                  |  |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                 | 運営推進会議やケア会議等を通じて事業所が直面している問題を提示し解決に取り組んでいる。又、直接担当者に相談する事もある。                              | 町役場の支所が事業所と隣接しており、災害時の避難の声掛けをしてもらったり、顔の見える関係となっている。新規申請の書類を散歩の時に利用者と一緒に届けたりしている。                              |  |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束はない。<br>研修に参加し、職員間で問題を共有し個々の利用者様の特性を理解し安全に生活出来るように努力している。                             | 事業所内研修では、職員が交代で担当し、学んだことの復命も行っている。利用者の性格について職員が共有し、顔色や表情を見ながら利用者に合わせて動くことを心がけており、「ちょっと待つ」という言葉も少なくなっている。      |  |
| 7                  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている       |   |   |  |

| 自己 | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----|-----|--|--|--|-------------------|
|    |     |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 現在、制度を利用されている利用者様がいらっしゃいます。研修等に参加し学ぶ機会を作っている。<br>必要を感じた場合、ケアマネが中心となりご本人・ご家族への説明や利用に向けて支援を行っています。 |  |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 契約書を一緒に確認し納得の上締結時しています。変更の際に、遠方に暮らすご家族には電話で変更箇所の説明をし、郵送にて書類作成をいただいています。                          |  |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 運営推進会議を通じ出された意見をミーティングの場で話し合い、利用者に反映出来るよう努力している。   | 家族からは受診予定を早く教えて欲しいとの要望が出され対応している。利用者から出された「家に行ってみよう」「〇〇を食べたい」といった要望は、すぐ叶えることができるように支援している。 |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 現場の声をしっかりと聞くよう努める事が大切。ミーティング等の場で意見を出し合っている。  | 職員には 仕事をする上で不便な所を変えようという意識が強く、困ったことはその都度話し合い、改善に向けて動いている。管理者等は頑張った職員を褒めたり、他の職員に周知している。     |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      |  |  |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 各種研修に一人最低でも一回以上参加し、内部研修で学習した内容を他職員に伝えることで、知識を共有しています。  |  |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 他施設への交流や研修に積極的に参加しています。自施設での実践内容と違う面を見を職員間で話し合い、良い点を取り上げ向上に勤めています。                               |  |                   |

| 自己                          | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|-----------------------------|-----|--|--|---|-------------------|
|                             |     |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |  |   |                   |
| 15                          |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 本人やご家族に面会し、ご家族の思いや本人の気持ちを聞き取りしています。ご本人の困り事が理解できるよう、職員は行動や発言に耳を傾けています。                  |   |                   |
| 16                          |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | ご家族の立場に立って、不安や要望をしっかりと聞き本人の支援に結び付ける事で信頼関係が築けるようつ努めている。                                 |   |                   |
| 17                          |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 入所の前に、ご本人やご家族に面会し『困り事』『要望』等を伺い支援につなげる様努めている。   |   |                   |
| 18                          |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 常に寄り添い信頼関係を築くよう努めている。又、出来ることを手伝ってもらうことで共に暮らす者としての関係を築いている。                             |   |                   |
| 19                          |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | ご家族の要望や意見をしっかりと受け止め、職員と家族で本人を支えていくよう努めてる。<br>※気兼ねなく(いつでも)面会が可能な雰囲気作りを心かけている。           |   |                   |
| 20                          | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | ご本人が暮らしていた地域の方々との関係がつなげるよう努めていきたい。   | 自宅周辺へのドライブを企画し、会話の中に登場する隣人や商店の方々とお話をする機会を作っている。岩泉町内であればテレビ電話が可能であり、利用者は相手の顔を見ながらのおしゃべりをゆったりと楽しんでいる。 |                   |
| 21                          |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                  | 毎日穏やかに、周りの方々との関係を円満に、そして孤立しないように支援している。どうしても気持ちの合わない同士は、間に職員が入ったり違う作業をしていただく等の工夫をしている。 |   |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|------------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
|                                    |      |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 状況に応じた相談や支援に応じるよう心かけている。                          |  |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |   |  |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 一人ひとりの要望に応じられるよう職員全員が、思いや意向について把握しようと努力している。      | 何を食いたいかを尋ねると「何でもいいが」と遠慮する利用者が多いが、誕生日に好きなものを準備したり、受診に出掛けた時に、外で食事をしたりしている。歌の好きな利用者には披露する機会を作るなど、希望を実現できるよう支援されている。 |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 個々の生活歴を知った上で、職員との信頼関係を築くよう努め、安心して生活出来ることが大切。      |  |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 利用者の体調に注意しながら、職員同士が情報を交し、ご本人の要望に沿った支援が出来るよう務めている。 |  |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 定期的にカンファレンスで意見交換をし、本人家族の要望た変化に応じた計画作成に務めている。      | 担当を中心に、家族と情報交換をしている。洗濯物たたみや玄関掃除、花の水やりなどの役割を果たすことができるように、また利用者のプライドを大切にした関わりについてミーティングで話し合い、その時々状況に応じて検討している。     |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 日々の変化や気づきを記録し職員間で情報を共有している。支援内容に反映するよう努力している。     |  |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 本人・家族の要望に対し、臨機応変に応じられるよう事業所として務めている。              |  |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |  |
|----|------|---|---|---|--|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容  |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | ご本人を取り巻く地域の地域の資源を把握し力を借りた取り組みをしている。                           |   |  |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | ご本人の安心のためにも、馴染みの医師による医療が受けてるよう支援している。                         | ほとんどの利用者が地元のかかりつけ医にかかっている。家族が遠方に居る利用者も多く、半数以上は職員が病院に付き添っている。変化があった時は家族に伝えている。         |  |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 看護職と連携を密にする事で、個々の状況をしっかり把握する事が出来る。                            |   |  |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 本人が安心して治療できるよう医療機関との情報交換や相談を常に行っている。入院中も面会を実施し、必要時は情報提供をしている。 |   |  |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | かかりつけ医やご家族・介護職・看護職で相談(小さな事でも)しながら段階に応じて出来ることを取り組んでいる。         | 看取りの指針はある。経管や褥瘡など医療行為が必要になった時は 家族と相談したいと考えている。看護師が、週に2日の勤務であり、家族には事情を説明している。          |  |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 職員全員が定期的に訓練を行い、急変・事故の発生に確実に対応出来るよう務めている。                      |   |  |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | すぐに対応出来るよう緊急持出し物をまとめてある。実践的な訓練の実施や地域の人々の協力を得られるよう日頃から話し合っている。 | 居室が2階にあるため、夜間に非常階段を使いやすいようにライトを付けたたり、普段からその階段を使ってみようと考えている。夜間想定避難訓練や、職員による通報訓練を行っている。 | 地元の消防団に協力をいただいて、夜間想定避難訓練を行ってみることを望みたい。その際に、運営推進委員の方々にも見学いただき、感想や意見を出してもらうなど、納得いくまでの訓練実施を期待したい。 |

| 自己                               | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----------------------------------|------|---|--|---|-------------------|
|                                  |      |   | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |   |  |   |                   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                    | 言葉使いに注意し、本人の得意なことを引き出せるような声掛けに務まる。   | 利用者の長所・短所について職員が共有することを大切にし、その理解のもと、さりげない配慮が行われている。排泄の失敗などは他の利用者に分からないように支援がなされ、耳の遠い利用者にはテレビに字幕を流すなどの心遣いが見られる。          |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                      | 日頃の考え等を把握し、思いや希望を表現できるよう選択肢を作る等、自己決定出来るように働きかけている。                                   |   |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 日頃の言動や行動・ペースを理解しその人らしいリズムで暮らしが出来るよう支援している。   |   |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                   | 好みのものを選ぶように買い物・美容院同行や毛染め等をしている。  |   |                   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている      | 地産地消の季節の食材を十分に取り入れている。食事中にも昔ながらの調理方法等を話題にあげて、ゆっくり美味しく食べれる工夫をしている。話題に登った食事を提供することもある。 | 事業所前の小さな畑でカボチャやミニトマト、シソやホウレンソウなどを育てており、収穫した野菜が食卓を飾っている。野菜の差し入れも多く、献立は当番の職員が食材を見ながら考えている。利用者は野菜の皮むきや食器拭き、テーブル拭きなどを行っている。 |                   |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている           | 冷たい飲物・温かい飲物等目先を変えて水分が摂れるよう工夫している。具だくさん汁を心かけ、無理せずにバランス良い食事が取れるように調理している。              |   |                   |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                    | 本人ができない所は声掛けや歯ブラシの持ち替えの支援をしている。又、入れ歯や歯ブラシ・コップの清潔にも心かけている。                            |   |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  |  | 外部評価              |  |
|----|------|---|---|--|-------------------|--|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |  |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | 出来ている事、出来ない事を把握し、羞恥心に配慮しながらトイレ誘導を行っている。トイレでの排泄や後始末が自立出来るよう、昔ながらの紙を用意したり撮り易い所に置く工夫をしている。 | 夜間のみポータブルトイレを使用している方が4名いる。ほとんどの利用者が排泄は自立しており、入居してから改善が見られた方も2名ほどいる。トイレの使用時間が長い時は支援が必要と考え、職員はさりげなく見守っている。 |                   |  |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる  | 十分な水分や運動を心かけている。根菜を使った食事提供や乳製品をお出している。異常時は看護師と相談し受診につなげる。                               |  |                   |  |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている                        | 体調や本人の希望に応じている(無理させない)。一人で着替え～入浴の一連の行為をゆっくり楽しめるような支援をしている。又、希望があれば友人同士で入ることもある。         | 風呂好きの利用者が多く、入浴できない時は足浴が行われている。利用者の体調や気持ちに沿って、無理強いしない支援に努め、その人に合わせた支援が行われている。                             |                   |  |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している   | 生活習慣を把握し職員間で情報を共有している。安眠出来るよう照明や空調(時には湯たんぽの提供)も個々に合わせるようにしている。                          |  |                   |  |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている  | 看護師を中心に、服薬内容は職員は把握している。服用時は本人確認を行い、飲み違いのないように務めている。服薬内容に変更があった場合は、特に変化の有無に気を配って観察している。  |  |                   |  |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 洗濯物の整理や調理の手伝いなど役割分担を決めて無理のないように行っている。得意分野の菜園を管理を担当している方もいる。レク活動の促しも行っている。               |  |                   |  |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 希望に沿った地へのドライブやイベント参加し地域の方々との交流を深めている。希望時には買い物や自宅(不在の空家)確認のための外出支援もしている。                 | ほぼ毎日のように事業所の周辺を散歩している。近くの商店まで買い物に出掛けたり、利用者からドライブの希望が出れば、すぐ出かけることができるように支援が行われている。                        |                   |  |



| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価   |   | 外部評価              |  |
|----|------|--|--|---|-------------------|--|
|    |      |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |  |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 家族と相談し、自己管理が可能な方はお金を所持し買い物している。各自の金庫が有り、お金を保管していることをご本人に伝え、安心できるようにしている。 |   |                   |  |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 町内の場合は、TV電話を使い気軽に会話を楽しんで頂いている。遠方の場合も電話でのやり取りが出来るよう支援している。                |   |                   |  |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 建具に木目柄を使用し、家庭の雰囲気な作りになっています。季節感のある共同作品を展示する等の工夫をしています。                   | 窓が多く明るい居間・食堂となっている。温度は18度程度に設定し、加湿にも配慮がなされている。テレビ前にゆったりとしたソファが置かれ、利用者は、職員が撮影したという神楽や地域のお祭りのビデオを楽しんで見ている。玄関外に置かれたベンチは外気浴の場所として皆さんのお気に入りとなっている。 |                   |  |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 各自に居室が有り、一人になれるスペースとしている。又、ソファ席や屋外には日光浴を楽しめるベンチスペースが有り自由に使ってもらっている。      |   |                   |  |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 個人のスペースとして、家族の位牌や大切な置物を飾っている。居室の掃除や配置替えの際は、本人と相談しながら本人が使いやすいようにしています。    | 仏壇やテレビ、ぬいぐるみやお花などが持ち込まれている。利用者の希望により、ベッドや畳を選ぶことができ、夜間にはポータブルトイレも使用できるように支援している。   |                   |  |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 居室入口には表札代わりに写真を掲示(書字困難な方のため)し混乱を防いでいます。居室⇄トイレ⇄浴室は家具や手すりを使い行き来が出来る。       |   |                   |  |